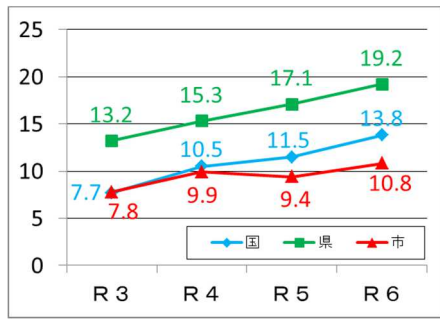


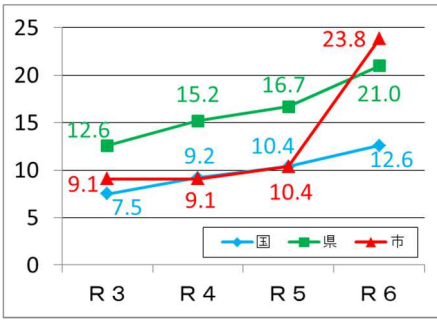
令和6年度「東広島市立小中学校における生徒指導上の諸課題」の現状について

1 「暴力行為」の発生件数について

【小学校/1,000人あたりの発生件数】



【中学校/1,000人あたりの発生件数】



【本市の暴力行為発生件数】

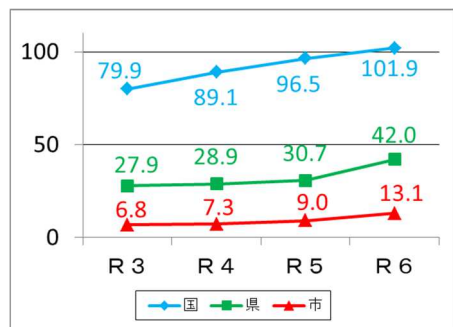
	小学校	中学校
R3	90	44
R4	119 (69)	45 (29)
R5	105 (57)	51 (33)
R6	119 (60)	117 (74)
R7	(103)	(61)

※ () 内は10月末の数値

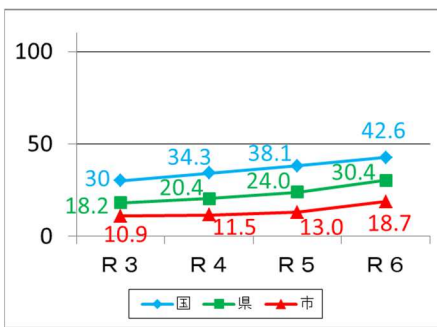
- ・令和6年度の本市の暴力行為の発生件数は、前年度と比較すると、小学校は約13%増加、中学校は約129%増と大きく増加している。

2 「いじめ」の認知件数について

【小学校/1,000人あたりの認知件数】



【中学校/1,000人あたりの認知件数】



【本市のいじめの認知件数】

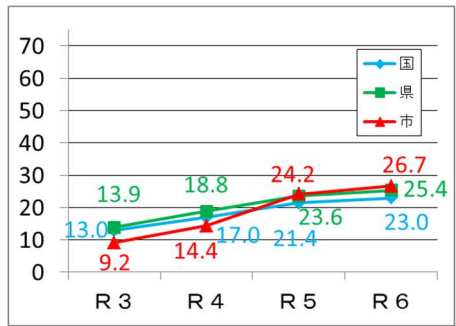
	小学校	中学校
R3	78	53
R4	82 (55)	57 (29)
R5	101 (60)	64 (41)
R6	144 (78)	92 (64)
R7	(88)	(39)

※ () 内は10月末の数値

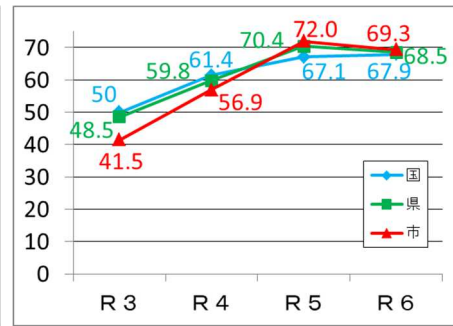
- ・令和6年度の本市のいじめの認知件数は、前年度と比較すると、小学校は約43%増、中学校は約44%増で、ともに増加している。

3 「不登校」の児童生徒数について

【小学校/1,000人あたりの不登校児童数】



【中学校/1,000人あたりの不登校生徒数】



【本市の不登校児童生徒数】

	小学校	中学校
R3	105	202
R4	163 (83)	283 (172)
R5	271 (132)	354 (249)
R6	293 (175)	341 (216)
R7	(157)	(229)

※ () 内は10月末の数値

- ・令和6年度の本市の不登校児童生徒数は、前年度と比較すると、小学校は約8%増加し、中学校は約4%減少している。
- ・不登校児童生徒のうち、専門的な相談・指導等を受けていない割合は、市41.0% (R5: 49.4%)、国38.3% (R5: 38.8%) であり、このうち、教職員から継続的な相談・指導を受けた割合は、市97.3% (R5: 96.4%)、国89.0% (R5: 89.1%) であった。